

報告

平成25年度 男女共同参画実践講座 が修了しました

『あなたの思いをカタチに』をテーマに開講した実践講座。男女共同参画の視点に立った活動を地域で実践する人材を育成しようと、今年度から新たに開講した講座です。

15名の受講生は、10月から半年間にわたり、男女共同参画の視点を生かした活力ある地域づくりや、地域課題

解決のための事業プランづくりなどを学びながら、あらかじめ選んだテーマ(※)ごとにグループに分かれ、事業プランづくりを行いました。

※テーマは、「男女共同参画の視点からの防災」「女性の活躍」「男性の子育て参画」の3種類から受講生が選択しました。

【第1回】10/19(土)

- ①講義「事業プランづくりのポイント」
引間紀江さん(独立行政法人国立女性教育会館事業課専門職員)
- ②講義「男女共同参画の視点で考える3つのテーマの背景」
- ③グループワーク「課題の共有とプランテーマの決定」
大森昭生さん(共愛学園前橋国際大学副学長・教授)



●引間紀江さん



●大森昭生さん

【第2回】11/12(火)

- ④講義「元気力発信!! 地域を変えるのは私たち」
萩原なつ子さん(立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授)

- ⑤「地域の実践事例報告」
新井とよ子さん(いせさき女と男ハーモニー・ネット代表)
松平博政さん(桐生市イクメンプロジェクト推進チーム)

※第2回は「地域における男女共同参画促進セミナー(公開講座)」を聴講しました。

【第3回】12/14(土)

- ⑥講義「効果的なプレゼンテーションを行うために」
村山賢哉さん(共愛学園前橋国際大学専任講師)
- ⑦グループワーク「事業プランづくり」
大森昭生さん(共愛学園前橋国際大学副学長・教授)



●村山賢哉さん

【第4回】1/25(土)

- ⑧グループワーク「事業プランづくり」

【第5回】2/21(土)~3/6(木)

- ⑨グループワーク「事業プランづくり・まとめ」

※第5回は豪雪の影響でグループごとに分かれて実施しました。



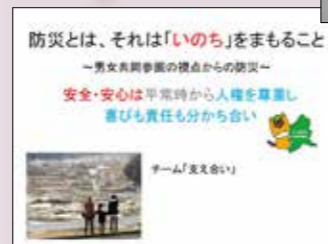
●グループワーク



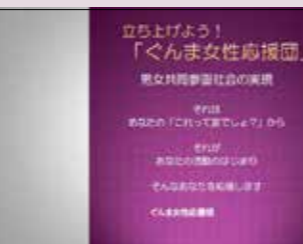
【第6回】3/8(土)

- ⑩グループワーク「プレゼンテーション準備」
- ⑪プレゼンテーション
- ⑫表彰・意見交換・修了式
大森昭生さん(共愛学園前橋国際大学副学長・教授)
引間紀江さん(独立行政法人国立女性教育会館事業課専門職員)

作成された事業プラン



●防災講演会開催~男女共同参画の視点からの防災



●連携・協働の地域づくり~立ち上げよう! 「ぐんま女性応援団」

企画 インタビューコーナー 第5回

~男女共同参画社会の実現を目指し活躍する人たち~

群馬大学男女共同参画推進室長(社会情報学部教授)

末松美知子さんに聞く

平成25年8月に群馬大学に男女共同参画推進室が設置されました

これまで群馬大学では、病院の教職員や大学院生などターゲットを絞った男女共同参画の取組みを行っていましたが、一方で大学全体として取り組んでいく必要性もあることを強く感じていました。

そこで、平成24年度にワーキンググループを立ち上げ、「群馬大学男女共同参画推進基本計画」を策定するとともに、平成25年8月に「男女共同参画推進室」を設置しました。今月には推進室専任の教員(コーディネーター)も着任となり、取組みがより加速する体制が整ったと考えています。

男女共同参画推進室の構成について

群馬大学はキャンパスが3つに分かれていますので、各キャンパス・各学部

から教員や事務スタッフに構成員として入ってもらっています。加えて、推進室専任の教員・サポートスタッフと、全部で18人の大所帯です。

実際の活動は、「広報・ネットワーキング」「意識啓発」「支援体制・環境整備」の3つのワーキンググループを中心に展開していく予定です。

今後の取り組みについて

当面は、昨年8月に採択された文部科学省の女性研究者研究活動支援事業「まゆだまプラン」が中心となっていきま



●末松推進室長(左)と推進室コーディネーターの長安めぐみさん



す。3月10日には、初のシンポジウムとなる「キックオフシンポジウム~大学における男女共同参画の促進を目指して」を開催しました。今後も教員や学生向けの研修会を1~2ヶ月に1回程度開催していきたいと考えています。

ニューズレター「まゆだま通信」も発行していきます。意識啓発には時間が必要ですので、あらゆる場面で多くの人の目に触れるようにしていきたいと思えます。大学内の意識啓発をまずは行いますが、地域や行政とも協力しながらやっていけたらと思っています。



☆受講生の感想☆

- ・グループの方と一つのテーマで語りあえたことが実りあった。聴くだけの講座でなく、悩みながらも実践に結びつける「ワーク」のある講座が今後求められているのかなと思った。
- ・グループで形にしていこうとすべく作業が大変だったが、相談しながらの作業は楽しかった。
- ・今まで面識のなかった方と、同じテーマについて同じような問題意識を持って掘り下げることができたのがよかった。

- ・いろいろな地域、年齢、職種の人たちが、一つのテーマを持って、企画を創り上げていく過程が充実していた。
- ・事業プランづくりの方法がよくわかった。
- ・男性の参加者もあり、男女共同参画にふさわしいと感じた。

●修了式



●受講生みなさんと講師